

KF アプリケーションノート No. K-6

タイトル： 軟膏の水分測定

概要： 軟膏の水分含量は、カール・フィッシャー法によって測定されます。サンプルは高い水分と脂肪の含有量があるため、クロロホルムとメタノールの1:1混合物で予備希釈されます。

サンプル： 軟膏2種類

サンプル前処理： 正確に約1gのサンプルをセプタムフラスコに秤量し、約50mLの溶媒混合物（同様に秤量）を加え、10分間強く振とうします。ブランク測定のためには、サンプルを入れずに同じ方法でフラスコを準備する必要があります。

装置と

アクセサリ： 701KFティトリーノ又は720KFSティトリーノ、703滴定スタンド、プリンタ

分析： 「ブランク測定」モードでは、シリンジを使用して2mLの溶媒混合物を注入します（5回の測定を実施）。測定結果は後の分析のために自動的に保存されます。実際の分析では、シリンジを用いて約2mLのサンプル溶液を20mLの事前調整されたメタノールを含む滴定容器に加え、自動滴定を開始します（5回の測定）。加えた溶媒混合物（ブランク測定）またはサンプル溶液（実際の分析）の正確な質量は差し引き秤量によって求められます。

試薬：

溶媒： メタノール (dry)

混合溶媒：クロロホルム：メタノール=1：1（容

滴定試薬：Hydranal Composite 5 (Riedel-de Haën)

結果： 軟膏 A: $AVG(5) = 48.86 \pm 0.06 \% \text{ 水}$
軟膏 B: $AVG(5) = 34.59 \pm 0.04 \% \text{ 水}$

装置パラメータ： 701 KF Titrino

>測定パラメータ

>extr.time	0 s
stop crit.:	drift
stop drift	25 uL/min
>preselections	
conditioning:	on
req.smpl	on
size: report:	full